

県中農林 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

○ 特集	P.1
○ 農林業関係の動き	P.2-8
○ 頑張る農林業者	P.8
○ GAP 取得者紹介	P.9
○ おいしい6次化商品	P.9
○ お知らせ	P.10



郡山ブランド野菜の御前人参
人参くささが少なく甘みが強いのが特徴です。

第31号 令和5年2月28日発行

編集・発行 福島県県中農林事務所

特集

豊かなむらづくり顕彰事業受賞者を御紹介します！

企画部

県では「豊かなむらづくり顕彰事業」として、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収めている団体等を表彰しています。41回目となる今回は、1月30日に杉妻会館（福島市）において表彰式が行われ、管内からは、農業生産部門で郡山市の「阿久津曲がりねぎ保存会」、田村市の「農事組合法人新田作コーポレーション」が受賞されました。今回の受賞を機に、各団体の今後ますますの御活躍が期待されます。

阿久津曲がりねぎ保存会（郡山市）

郡山市の伝統野菜である阿久津曲がりねぎの種子の保存などに取り組むため、平成17年に設立されました。一度掘り起こし、斜めに植え替える「やとい」という伝統技術を守りながら栽培しています。阿久津曲がりねぎは、令和4年に地理的表示（GI）保護制度（※）に登録されています。

※「地理的表示保護制度」とは、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度です。



左から橋本会長、知事、
福島民友新聞社長、武田副会長

農事組合法人新田作コーポレーション（田村市）

平成19年に「新田作生産組合」を設立し、担い手への農地集積を進めてきましたが、平成23年に「農事組合法人新田作コーポレーション」として法人化しました。水田経営を行うとともに、ほ場整備が実施されていない農地の基幹作業を受託し、地域の中心的な経営体となっています。また、地域の他組織と協力し、美化活動や景観の保全にも努めています。



左から渡邊幸藏代表理事、知事、
福島民友新聞社長、渡邊義輝理事

農林業関係の動き（トピックス）

鳥獣被害対策の侵入防止柵設置講習会を開催しました！ 須賀川農業普及所



近年、イノシシをはじめとした野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にあり、地域農業の大きな問題となっています。

そこで、イノシシからの農作物被害を防ぐため、11月13日に玉川村山小屋地区において、侵入防止柵（ワイヤーメッシュ柵、ロールメッシュ柵）の設置講習会を開催しました。講習会には地区住民17名が参加しました。その後、11月20日、12月11日にも侵入防止柵の設置支援を実施し、約1.1kmの侵入防止柵が設置されました。

令和5年度には柵設置による効果を確認してまいります。

ほ場整備「前田川地区」の竣工式が行われました！ 農村整備部

11月16日、復興再生基盤整備事業（ほ場整備）「前田川地区」の完成を祝い、須賀川市土地改良区及び前田川ほ場整備委員会の主催により、須賀川市前田川集会所において竣工式が行われ、大波^{おおなみ}県中農林事務所長が出席し祝辞を述べました。

本工事では、平成26年度から令和4年度まで8年の歳月をかけて、50aの大区画を標準とした農地約63haを整備しました。本工事完了に伴い、担い手への農地集積が工事前と比べて約3倍の37haと大いに図られており、農作業にかかる時間の短縮や作業の安全性も向上しました。本地区の完成は、今後の地域農業の安定と力強い発展につながるものと期待されます。



農業普及活動高度化全国研究大会において 全国農業改良普及職員協議会長賞を受賞しました！ 須賀川農業普及所

11月16日に東京都で開催された第10回農業普及活動高度化全国研究大会において、当普及所の本田^{ほんだあや}綾主査が「キュウリ主要産地を守れ！～地域内の連携と新規就農者等の育成～」というテーマで事例発表し、本県初の快挙となる全国農業改良普及職員協議会長賞を受賞しました。

市町村・JAと連携して行った施設化推進やベテラン農家の作業動画を活用した新規就農者向け研修会の実施、新規就農者を5年間集中的に技術指導する重点支援活動について紹介しました。

今後も、産地の維持発展のため、関係機関と連携し、地域の生産者のみなさまのご協力をいただきながら、積極的に活動を行ってまいります。



**「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン
県中地方特産品等プレゼント（第2期）抽選会を開催しました！** 企画部

県産農林水産物のおいしさや安全性をPRし、県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、管内の21常設直売所において、お客様を対象としたプレゼントキャンペーンを行いました。

11月28日に、第2期分の抽選会を大波県中農林事務所長の抽選により、応募者563名（1,991口）から当選者30名を決定しました。当選者へは「新米の詰め合わせ」をお送りしました。

また、管内4方部（各方部1店舗以上）でお買い物をされた方へは、コンプリート賞として「福、笑い」と6次化商品のセットをお送りしました。

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。今後も県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進してまいります。



棚田先進地視察交流会を実施しました！ 企画部

11月29日、棚田先進地視察交流会を実施し、棚田地域を有する市町村の職員など8名が、二本松市の布沢棚田を訪れました。

まず、NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の菅野正寿氏の案内により、布沢棚田を見学しました。地域で協力してビオトープを作り、子供達の生き物観察会を行っている点を見習いたいとの声が聞かれました。また、布沢棚田で行われた案山子コンクールも見学し、楽しみながら棚田地域の魅力をPRする工夫を学びました。

その後、農家民宿遊雲の里で、菅野氏から棚田を核とした地域活性化の取組について説明していただきました。参加者からは、棚田の維持管理や取組等について意見を交わすなど交流を深めることができ大変参考になったとの声が聞かれました。

この視察交流会を通して棚田地域が更に活性化されることが期待されます。



令和4年度食品表示法研修会を開催しました！

企画部

11月30日に県農業総合センターで、食品表示についての研修会を開催しました。

この研修会は、農産物の加工グループや直売所関係者、直販を行う農業者などを対象に、食品表示について理解を深めていただくことを目的として毎年開催しています。名称・原材料名・原産地表示等の「品質事項」について当事務所の郡司主査から、アレルギー・賞味期限等の「衛生事項」については県中保健福祉事務所の藤倉副主査から、栄養成分表示等の「保健事項」については県中保健福祉事務所の田村主任栄養技師から説明がありました。

受講者の皆様が加工・販売を行うにあたっての一助となりますことを期待しています。



熱心に説明を聞く受講者

県中地方園芸振興セミナーを開催しました！

農業振興普及部

11月30日、JA福島さくら日和田総合支店において、県中地方の生産者を対象に開催し、70名が参加しました。本セミナーは、米の消費量が減少し続ける中、稲作から高収益作物等への展開を一層進めるため、園芸産地の先進事例を学び、園芸振興を加速させることを目的に毎年開催しています。

セミナーでは、あきた白神農業協同組合営農部長の佐藤和芳さんさとうかずふさをお招きし、目覚ましい発展をとげている白神ねぎ産地の取組について講演をいただきました。10億円販売達成プロジェクトチーム設立の経緯から、現状の分析、機械化の推進、栽培体系の変更、PR・販売方法の工夫など、関係者の熱意と趣向を凝らした活動について、プロジェクトを牽引した当事者ならではの視点でお話をいただきました。

今後の県中地方の園芸発展のために関係者が何をしていくべきかを共に考える貴重な研修となりました。



セミナーの様子

経営能力向上研修を開催しました！

田村農業普及所

青色申告の実施やパソコン簿記の導入等により自身の経営向上を目指す認定農業者や新規就農者等を対象に、経営能力向上研修を11月25日（①税務と複式農業簿記の基礎）と、12月1～2日（②パソコン農業簿記）に開催し、延べ20名が受講しました。

研修では、税理士やパソコン簿記ソフトメーカー等の専門家を講師に、テキストを基にした簿記記帳やパソコン簿記ソフトの操作方法を学びました。受講者の複式簿記やパソコン簿記に対する理解度が深まったことで、今後、青色申告の実施やパソコン簿記の導入による簿記記帳の効率化等、経営の改善が期待されます。



税務と複式農業簿記の基礎の研修



パソコン農業簿記の研修

工事安全パトロールを実施しました！

総務部・農村整備部・森林林業部



新安積（三期）地区現場における安全確認状況

12月5日、郡山市湖南町の穴尾地区^{あな お}治山工事現場及び須賀川市の新安積^{しん あ さ か}（三期）地区管水路工事現場において、工事安全パトロールを実施しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止等により、規模を縮小し受注業者9名、当事務所職員7名で実施しました。

現地において、安全管理の良好点や改善点について検討し、参加業者及び発注者双方で安全施工へ向けた確認を行いました。

今後も安全施工に努めてまいります。

県中地方 GAP セミナーを開催しました！

農業振興普及部

認証GAPの取得を促進するため、県中地方の新規就農者等を対象に、12月8日に開催し20名が参加しました。

平成30年度にふくしま県GAP（FGAP）の認^{もんま}証を取得した「三春インターブルーベリー園」の門馬^{としはる}稔治さんから、取得に当たっての心得や準備の方法、現在の取組状況についてお話をいただきました。また、審査を担うふくしまの恵み安全対策協議会の安部^{あべ}充^{みつる}さんからFGAP審査のポイントを説明いただきました。

参加者からは、「自分もGAPを取得したい！」との声が上がっていました。



セミナーの様子

園芸基礎講座&土壌肥料基礎講座 &病害虫防除基礎講座を開催しました！

田村農業普及所

新規就農者や経験の浅い生産者等を対象に、園芸品目栽培の基礎知識習得を目的とした講座を3講座に分けて開催しました。12月12日（ピーマン編）と13日（キク・リンドウ編、キュウリ編）に園芸基礎講座を、1月12日に土壌肥料基礎講座を、1月19日に病害虫防除基礎講座を開催し、延べ74名が受講しました。

講座では、各品目の生理生態や土づくり、病害虫発生要因等の基礎知識に加え、よくある失敗事例などを紹介しました。

これまで無我夢中で作業に当たっていた新規就農者等も、栽培指導会で説明される管理作業の根拠や理由、背景の理解度が深まったことで、今後、適期栽培管理や適期病害虫防除による単収アップが期待されます。



ピーマン基礎講座



土壌肥料基礎講座

ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾を開催しました！

農業振興普及部

本年度、当部では新規就農者等を対象とした研修会「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を全5回シリーズで開催しました。

12月13日に開催した第4回は、福島大学の深山陽子准教授より、植物の生態的特性や環境制御技術に関する講義をいただきました。第5回は1月16日に開催し、同大学の二瓶直登准教授を講師に、作物が育つための良い土をつくるポイントについて講義をいただきました。参加者は真剣な表情で講義に耳を傾け、栽培技術や収量向上のヒントを得ようと、多くの質問をしていました。

今後も、新規就農者等の経営発展につながるテーマを設定し、研修会を開催してまいります。



第4回研修会（園芸基礎編）



第5回研修会（土づくり編）

いわせ錦秋米生産部会が

KIWAMI米コンテストで金賞を受賞しました！

須賀川農業普及所

東京都米穀小売商業組合が主催する「東京米スターセレクションKIWAMI米コンテスト2022」において、いわせの錦秋米生産部会がミルキークイーンで最高賞である金賞を受賞し、12月23日に大波県中農林事務所長を表敬訪問しました。

小林秀巨部会長からは、「食味の向上に努めた結果、念願の金賞を受賞することができた。今後も皆さんから美味しいと言われるお米を作り、県産米の美味しさをPRしていきたい。」と抱負が語られました。



右から、小林部会長、大波所長、鈴木副部会長

新嘗祭献穀者の遠藤昭夫さんが知事を表敬訪問されました！ 農業振興普及部

宮中の恒例行事「新嘗祭」に新穀を献納された郡山市の遠藤昭夫さんが、12月26日に内堀知事を表敬訪問されました。遠藤さんは、福島県オリジナル米「福、笑い」を県内で初めて新嘗祭に献納した喜びと、栽培の苦労をお話しされました。また、知事から遠藤さんへ、掌典長（※1）からの伝達書（※2）と杯、県からの記念品として桐箱が手渡されました。

※1 宮中祭祀を担当する部門（掌典職）の長

※2 献納された米が新嘗祭に供されたことが記載されたもの



「福、笑い」収穫



知事表明訪問

須賀川4Hクラブ勉強会を開催しました！

須賀川農業普及所

1月13日、須賀川農業普及所会議室において須賀川4Hクラブ（※）主催による勉強会が開催されました。県農業総合センターの成田副主任研究員、当普及所三田村副主査を講師に、イノシシやハクビシン、モグラなどの生態と鳥獣害対策について講演を行いました。須賀川4Hクラブの会員以外も参加し、それぞれの野生鳥獣の特徴とその対策について理解を深めました。



須賀川4Hクラブでは、現在、会員を募集中です！
ご興味のある方は、ぜひ当普及所までお問い合わせください。

【TEL：0248-75-2181 住所：須賀川市花岡34番地の2（旧産業会館1階）】

※須賀川4Hクラブでは、須賀川・石川地区の若手農業者が中心となり、勉強会の開催やイベントへの参加等の活動を行っています。

たむらのエゴマ油が地理的表示（GI）として登録されました！

企画部

1月31日に、「たむらのエゴマ油」が地理的表示（GI）（※）に登録されました。たむらのエゴマ油は、田村在来種から採種し、田村市で栽培された黒種または白種のエゴマから圧搾された食用油です。1998年から田村市出身の村上周平氏によりエゴマの搾油技術が広められ、以来田村市はエゴマ油生産の先駆けの地として認知されています。



右から、農林水産大臣角田政務官、田村市産業部吉田部長、田村市農林課山内課長、田村市エゴマ振興協会根本会長、同事務局戸谷氏、田村市農林課西須主事

なお、県内ではほかに、南郷トマト、阿久津曲がりねぎ（※）、川俣シャモ、伊達のあんぽ柿が地理的表示として登録されています。

※地理的表示（GI）、阿久津曲がりねぎについては、本紙1ページを御覧ください。

たむらのエゴマ油を購入するにはこちら→https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/17/entry_7.html

令和4年度林業普及指導員全体研修会が開催されました！

森林林業部

2月1日、県林業研究センターにおいて林業普及指導員全体研修会が開催されました。林業普及指導員とは、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展のために普及や指導を行う職員で、県内7方部すべての農林事務所森林林業部に配属されています。研修会では、各事務所から1テーマずつ発表があり、当事務所からは、平塚主査が「須賀川市における松林保護の取り組みについて」と題して発表し、須賀川市や森林組合等と連携した森林所有者への声かけにより、松林保護の取り組みが進んだ事例を紹介しました。



今後も引き続き普及指導員同士で意見交換を活発に行い、林業の振興・活性化に取り組んでまいります。

県中地方フラワーネットワーク講演会及び活動報告会を開催しました！

農業振興普及部

県中地方の魅力ある花き品目を地域の関係者に知ってもらい、花きの利用促進を図るため、昨年7月に花き利用施設、生花店、流通事業者、生産者からなる「県中地方フラワーネットワーク」を設立し、生産地視察などの活動を行っています。

2月14日に、郡山合同庁舎会議室においてネットワーク構成員を対象に、県中地方フラワーネットワーク講演会及び活動報告会を開催しました。

講演会では、生花店「花門」の芳賀和男^{かもん はがかずお}さんから、「花きを扱うプロフェッショナルとしての歩みと今後の展望等について」と題し、約30年に亘る豊富な経験を踏まえた、花き消費最前線の話提供や今後の花き業界への提言等をいただきました。

また、ネットワークの令和4年度の活動実績と、令和5年度活動計画について検討を行いました。

今後も引き続き地元産花きの情報発信などにより、認知度向上と利用促進を図ってまいります。



講演会の様子

頑張る農林業者

森林林業部

有限会社M&Aふあーむ・わたなべ ^{わたなべとしふみ} 渡辺俊史さん (三春町)

渡辺さんは平成23年11月に就農し、父の^{のぶお}宣夫さんとともに、主に菌床しいたけと長ねぎを栽培しています。しいたけは12万菌床から90t/年を、長ねぎは5haのほ場で190t/年を生産しています。平成30年3月には、しいたけのJGAPを取得し、生産工程の安全性や働く人の労働安全、資源の循環利用にも取り組んでいます。また、林野庁主催のシンポジウムで菌床しいたけについての講演をしたり、大阪大学学生の視察・研修を受け入れるなど、積極的に生産現場の取組を発信しています。



社名看板の下にある原木しいたけの模型と共に。菌床しいたけ施設内ではヘッドキャップ必須です。

渡辺さんが生産する菌床しいたけ及び長ねぎは、ヨークベニマル県内51店舗と、三春町と郡山市の農産物直売所で販売されていますので是非ご賞味ください。

GAP 取得者紹介

管内で新たにGAPを取得された方を御紹介します。

- ①のんびり農園合同会社（郡山市）
- ②FGAP（米）
- ③福島県オリジナル米「福、笑い」の栽培にもチャレンジし、消費者に安全安心で美味しいお米を届けていきたいです。



右から石井友己代表社員、石井若菜さん、石井幸子さん、石井吉一さん

- ①大野農園株式会社（石川町）

- ②FGAP（日本なし）

- ③社内の意識向上に努めていきたいです。



大野栄峰代表取締役（左）と大橋須賀川農業普及所（右）

- ①馬場ファーム田村

馬場竜吉さん（郡山市） 半沢農業振興普及部長（左）と馬場さん（右）

- ②FGAP（ネギ）

- ③消費者へ直売所で一番美味しいネギを届けようと栽培しています。GAP認証を取ることで、安全安心が消費者にわかるようにしていきたいです。



大橋須賀川農業普及所長（左）と小針さん（右）

- ①小針良広さん（天栄村）

- ②FGAP（米）

- ③食の安全性向上をはかり、地域の生産者と切磋琢磨しながら栽培に取り組みたいです。

GAPの種類

GLOBAL G.A.P. :	国際的に広く適用する第三者認証GAP
ASIAGAP :	日本発の国際基準認証
JGAP :	日本のデファクトスタンダードのGAP
FGAP :	福島県が創設した公的認証GAP

おいしい6次化商品

企画部

お菓子のさかい（石川町）の「うふれっと」

お菓子のさかいで販売している「うふれっと」は、県産の牛乳と卵を使用したパンケーキサンドです。「ふくしま満天堂グランプリ 2022（※）」でプレミアム10商品に選ばれました。

カフェで食べるようなふわふわの食感を、自宅で楽しむことができます。手土産や自分への御褒美に是非どうぞ。

※ふくしま満天堂グランプリは、県内の魅力ある6次化商品を広く紹介するため、県が年に1回開催しています。

お菓子のさかい（県中管内店舗のみ掲載）

- 長久保店（本社）石川町長久保 277-20
- 石川本店 石川町字下泉 231
- 須賀川西川店 須賀川市茶畑町 61
- 新さくら通り店 郡山市島 1丁目 21-7
- THE MALL LIVIN 郡山店 郡山市長者 1丁目 1-56

うふれっと カスタード

株式会社お菓子のさかい

福岡で創業100年を超える老舗菓子店、お菓子のさかい。福島県産牛乳と卵の黄金比率から生まれたパンケーキサンド。冷凍商品とは思えないほど解凍後はふわふわな食感です。程よい甘さで、ついもう一つ食べたくくなります。

満天 プレミアム 2022

ふくしま満天堂

手のひらサイズのパンケーキサンドです。カスタードのほか、いちご、チョコレート、季節限定の味があります。

お知らせ

高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するために

農業振興普及部

11月29日に伊達市で、12月7日に飯舘村で高病原性鳥インフルエンザの発生がありました。今シーズンは全国で25道県74事例の発生があり、約1,363万羽が殺処分されるなど、過去最大となっています（2月7日時点）。

環境中のウイルス濃度が高まっていると考えられますので、農場等へのウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします。

また、昨シーズンは5月まで北海道・東北地方で発生しています。引き続き、警戒を緩めず飼養衛生管理の徹底による発生予防と早期発見・通報をお願いします。



予防対策の重要ポイント

		
家きん舎専用の靴使用	金網等の破損修繕	消毒の実施

農薬は安全・安心のため、適正に使用しましょう

農業振興普及部

農薬の使用に当たっては、ラベル等に記載されている適用作物や使用方法等を十分に確認し、その内容を遵守してください。

また、隣接する農作物やほ場、周辺住民等への影響を防止する対策も徹底してください。そして、農薬を使用したらすぐに防除日誌等に記帳しましょう。



農薬散布時の注意点

- 気象条件に配慮した散布方法の実施
 - 飛散防止に効果のある散布器具の活用
 - 水稲育苗後のハウスに野菜類等を栽培する場合は育苗時に無孔シートを敷く
 - 土壌への農薬成分の移行防止対策
 - 防除器具の使用後の洗浄徹底
- 等

山火事にご注意を！！「火の確認 山を愛する あなたのマナー」

森林林業部

空気が乾燥し、風の強い日が多い冬から春にかけては山火事が発生しやすいことから、3月から5月上旬までを山火事防止強化期間としています。

令和4年中に、管内で発生した山火事（林野火災）14件のうち、64%にあたる9件が1月から5月にかけて発生しており、出火原因のほとんどがたき火など人為的なものです。

一人ひとりの注意が多く山の火事を防ぐことにつながります。枯れ草など燃えやすいものがある場所でのたき火、強風時及び乾燥時の火入れ等は絶対に行わないようにお願いします。



【編集・発行】福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号 電話 024-935-1510 FAX 024-935-1314
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>

